

のり養殖通報第8報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成 29 年 12 月 5 日発行

[気象]気温は変動が大きく今後は低めに

- 気温は 11 月 18 日まではほぼ平年並みで経過していたが、19～22 日には平年を大きく下回る日が続いた。その後は再び平年に近い値で推移している（図 1）。
- 気象予報では、今後は冬型の気圧配置が強まり気温が平年を下回る日が多いと予想されている。

[海況]栄養塩は十分

- 12 月 4 日の観測では、表層水温は内湾が概ね 15℃台、内房は 16℃台。湾奥部では前年同期より 1℃程度高いが盤洲以南は前年同期とほぼ同じで平年並みの値。植物プランクトンは少なく透明度は概ね良好で、栄養塩量は 11 月半ばの値より増えのり養殖に必要な量が十分に含まれている（表 1）。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は 11 月半ば以降順調に降下し 26 日には前年より 2℃程度低い 16℃前後で推移。その後は降下が鈍り現在はほぼ昨年と同じ 16℃台で経過している。

[今後の留意点] 良い場所を有効に

- 木更津～富津地区では依然、場所によってノリ芽の短縮化が続いています。この短縮化は魚類、鳥類の食害や水温停滞の影響など様々な要因が考えられます。
- 魚類の食害については気温・水温の低下に伴い少しずつ弱まっていく見込みです。当面は比較的伸長が良い場所を有効に活用し、食害防止などの対策を施しながら状況好転を待ってください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は 12 月 21 日頃発行します。

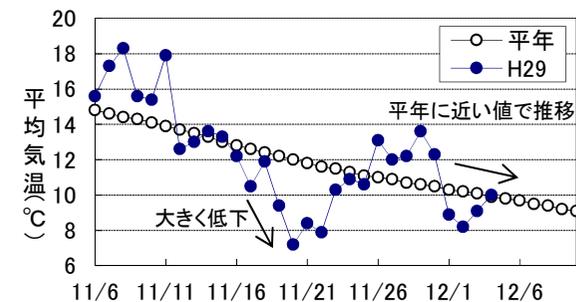


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

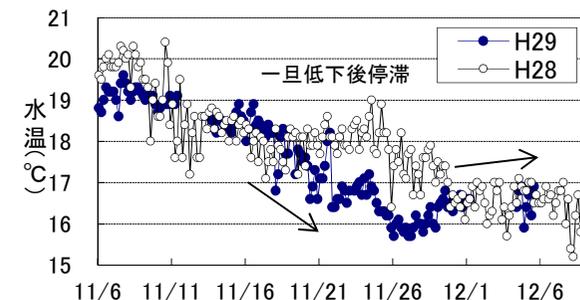


図2 昨年度と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)

表 1 水質観測結果(12/5)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	15.5	31.4	8.1	4.3	574	63
盤洲 C ブイ	15.3	31.1	8.2	5.3	521	46
盤洲 B ブイ	15.9	31.8	8.2	5.7	439	38
盤洲 A ブイ	15.1	31.1	8.3	6.2	474	31
富津ベタ	16.0	32.0	8.2	5.5	381	12
2 海ほ下	16.5	33.0		4.0	286	25
大貫沖	16.4	32.9		6.0	204	19
湊沖	16.2	33.2		6.0	172	15

*溶存無機態窒素 (μg/l) 、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5